

【セブンスブロックパートナー】釜石シーウェイブスRFC セブンスアカデミー報告

去る10月30日(土)、2010年度、セブンスブロックパートナークラブに認定されました「釜石シーウェイブスRFC」(以下、シーウェイブス)が、「いわてスーパーキッズスペシャルスクール」に参加し、セブンスアカデミーを実施致しました。

当日は台風14号の接近による、天気が心配されましたが、時折太陽の日差しが降り注ぐ中、紫波町総合運動公園にて事業を開催致しました。事業は日本ラグビーフットボール協会リソースコーチ/松尾氏、C&Sコーチ/見山氏、またシーウェイブスからは小久江トレーナー、清水・ラタの両選手、桜庭TDが参加して行われました。

参加者は世界で活躍するトップアスリートを岩手県から排出することを目指して実施している、タレント発掘事業で選抜された「いわてスーパーキッズ」の小学校6年生～中学校2年生までの約60名を対象に体力測定と実技指導を実施致しました。



見山C&Sコーチからのプレゼンテーション



参加者それぞれが自分の限界にチャレンジしました



測定の様子を見守る松尾コーチ



岩手県ラグビーフットボール協会の関係者も駆けつけて頂きました

実技指導では、限られた時間の中、ハンドリングスキル、ステップワークについて指導を頂きました。講師のデモンストレーションを観察し、いかにアウトプットできるか、選手たちは楽しみながらも真剣に取り組ましました。



松尾コーチの説明に耳を傾ける選手たち



色々なパスにチャレンジしました。



1VS1の真剣勝負です



今回参加した中学1.2年生の選手と講師

今回は「いわてスーパーキッズ」の選手を対象に地域の優秀なアスリートの発掘を目的に事業を実施致しました。

今回参加して子供たちが、ラグビー選手としてオリンピックを目指すきっかけになればと思うのと同時に、最終ゴールのオリンピックの舞台に向けて、継続的にトレーニングを重ねていく、あるいはサポートしていくには「本気の覚悟」が必要だということを改めて感じた一日でした。

最後に今回の事業に関し、多大なるご協力を頂きました、岩手県体育協会、紫波町体育協会ならびに日本ラグビーフットボール協会の関係者の皆様に感謝申し上げます。